

## 出生数、死亡数、婚姻・離婚件数等の前年比較（福岡県）

	実 数			率 1)		平均発 生間隔	
	平成18年	平成17年	対前年増減	平成18年	平成17年	平成18年	平成17年
出 生	45,304	43,421	1,883	9.0	8.7	時 分 秒	時 分 秒
男	23,323	22,143	1,180		9.3	11' 36"	12' 06"
女	21,981	21,278	703		8.1	22' 32"	23' 44"
死 亡	43,270	42,675	595	8.6	8.5	23' 54"	24' 42"
男	22,728	22,547	181		9.5	12' 09"	12' 19"
女	20,542	20,128	414		7.6	23' 07"	23' 19"
(再掲) 乳児死亡	90	109	-19	2.0	2.5	25' 35"	26' 07"
新生児死亡	46	58	-12	1.0	1.3	97 : 20' 00"	80 : 22' 01"
自 然 増 加	2,034	746	1,288	0.4	0.1	190 : 26' 05"	151 : 02' 04"
死 産	1,495	1,605	-110	31.9	35.6	4 : 18' 24"	...
自然死産	505	556	-51	10.8	12.3	5 : 51' 34"	5 : 27' 29"
人工死産	990	1,049	-59	21.2	23.3	17 : 20' 48"	15 : 45' 19"
周産期死亡	177	209	-32	3.9	4.8	8 : 50' 55"	8 : 21' 03"
妊娠満22週以後の死産	143	161	-18	3.1	3.7	49 : 29' 29"	41 : 54' 50"
早期新生児死亡	34	48	-14	0.8	1.1	61 : 15' 31"	54 : 24' 36"
婚 姻	30,006	28,715	1,291	6.0	5.7	257 : 38' 49"	182 : 30' 00"
離 婚	11,291	11,567	-276	2.25	2.31	17' 31"	18' 18"
						46' 33"	45' 26"

	平成18年	平成17年
合計特殊出生率2)	1.30	1.26
年齢調整死亡率3) 男	6.0	6.1
女	3.0	3.0

- 注1) 出生・死亡・自然増加・婚姻・離婚率は人口千対、乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対、死産率は出産（出生＋死産）千対、周産期死亡・妊娠満22週以後の死産率は出産（出生＋妊娠満22週以後の死産）千対である。
- 2) 合計特殊出生率とは、15歳から49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数に相当する。
- 3) 年齢調整死亡率（人口千対）は、人口構成の異なる集団間での死亡率を比較するために、年齢階級別死亡率を一定の基準人口（昭和60年モデル人口）にあてはめて算出した指標である。

